

はじめのいっぽ



早期教育支援部だより

令和6年11月

今年は昨年にも増して暑さが残り、いつになったら秋が来るのか心配になるくらいでしたが、ようやく秋らしい風が吹き、穏やかな暖かさとして日差しを感じられるようになりました。この時季は気持ちよく外遊びができるいい季節ですね。ご家族でお散歩をしたり公園へ出かけられたりするご家族も多いのではないのでしょうか。体を動かして遊ぶことで、身体の成長が促されることはもちろん、屋外で過ごす経験から得られる刺激は子ども達にとって大切な学びがたくさんあります。例えばお散歩一つとっても、室内から一步外へ出してみると音の広がりや各段に違います。遠くの方から聞こえてくる音に耳を澄ますと、何が聞こえてくるでしょう。犬の鳴き声、サイレンの音…、そして、近くでは通り過ぎる自転車の音や車のエンジンの音、人の話し声。距離によって聞こえ方は変わってきますね。雨が降れば、雨が当たる音でいつもは気付かなかったバス停の屋根の存在に、また、風が吹けば、道にたくさんの落ち葉が落ちていることに気付くかもしれません。お日様の暖かさ・まぶしさを感じながら歩いていても、ふとひんやり感や暗さを感じることもあるでしょう。建物や木々の「陰」があることに気付くきっかけになるかもしれません。公園に着けば、土や落ち葉のにおい等、街中とはまた違う匂いを感じることができます。

これらはほんの一例です。子ども達と一緒に、音や光、香りを体いっぱいを感じ、味わい、楽しむ経験を、ぜひ共有してみてください。自分を取り巻く環境について新たな発見・気づきがあることと思います。感覚を豊かに使って「知る」「感じる」ことの奥深さを体験してみたいはいかがでしょうか。

令和7年度 幼稚部への入学を希望されている方へ

令和7年度入学者募集要項及び願書の配布時期です。幼稚部では、事前に入学調査に伴う教育相談を受けていただいた方へのみ願書を配布します。出願をご予定の方、出願を検討されている方は、幼稚部まで電話又はメールにて事前にご連絡の上、教育相談をお受けください。(連絡先は最後のページをご覧ください。)

出願書類準備には時間を要するとともに、11月は教育相談が込み合うことが予想されます。できるだけ早めにご準備いただくことをお勧めします。

◎ 入学調査に向けた教育相談を終えた方を対象に願書を配布しております

出願期間:令和6年12月2日(月)~12月4日(水)必着

※ 対象、出願期間、入学調査日等詳細については、なお募集要項にてご確認ください。(募集要項は本校 HP にも掲載しております。)



グループ活動のご案内

- ◎ グループ活動「ミニ講座」「育児学級」「あそびのひろば」へ参加を希望される方は、**実施 1 週間前まで**にお申し込みください。締め切りを過ぎてのお申し込みについては、準備の都合上お断りする場合がございます。ご注意ください。
- ◎ 都合による参加のキャンセルにつきましては、早めにご連絡くださいますようお願いいたします。体調不良等による当日の欠席につきましては、電話（03-3943-5422）にてご連絡ください。

【育児学級】

各回講師を招き、テーマに沿った内容のもと、ご参加いただいた皆様と一緒に視覚に障害のある乳幼児の子育てについて考えていきます。

また、参加者全員で一緒に昼食を摂りながら、交流を深めます。

対象：0～2歳児（令和6年4月1日現在）とその保護者

方法：来校

開催日時及び内容：いずれも月曜日、10:15～12:15

11月18日「みんなで楽しく♪～食事編②～」

講師：金居有香子先生

12月2日「日々の子育てを振り返って～フリートーク～」

講師：高見節子先生

2月17日「みんなで楽しく♪～食事編②～」

講師：金居有香子先生

持ち物：お弁当、水分、他 各自必要な物

〈講師紹介〉高見節子先生（幼稚部元教諭）

金居有香子先生（本校栄養教諭）

【あそびのひろば】

お家の人やお友達と一緒に遊びながら、生活経験、興味・関心の幅を広げていきます。

また、参加者全員で一緒に昼食を摂りながら、交流を深めます。

対象：2歳児（令和6年4月1日現在）とその保護者

方法：来校

開催日時：いずれも月曜日、10:15～12:15

令和6年11月11日、12月9日

令和7年2月3日

持ち物：お弁当、水分、他 各自必要な物

※活動内容によっては、必要な物をお持ちいただくこともあります。

その際は、参加申し込みをされた方へ個別にご連絡します。

【ミニ講座】

視覚障害児の子育てや悩み等について、座談会形式でお話を進めます。

講師に猪平眞理先生（宮城教育大学名誉教授）、高見節子先生（本校元教諭）をお招きし、子育てについてのアドバイスをいただきます。

また、参加者同士、情報交換をしながら一緒に子育てについて考えます。

今年度最後の開催です。どうぞご参加ください。

対象：0歳児～就学前のお子さんをもつ保護者

方法：来校又はオンライン（ハイブリッド形式）

※接続情報はお申し込みをいただいた方へ直接ご連絡いたします。

開催日時：令和7年1月18日（土）10:00～12:00

- ◎ 今号も「れいちゃんのコラム」を掲載します。本コラムは、本校卒業生でもある高橋玲子さんが執筆されたものです。以下、玲子さんからの自己紹介です（5月号の再掲）

こんにちは。高橋玲子と申します。強度の弱視（小眼球）で生まれ、白内障が出て4歳ぐらいまでにはほぼ全盲になりました。

大学を卒業した後、玩具メーカーのタカラトミーでもう30年以上働いていて、趣味はクラシックの合唱です。複数の合唱団に混ぜていただいて、プロの楽団やソリストの方たちと一緒にステージで歌っています。

ご掲載いただく文章は、社会人になったばかりのころ、おもちゃで遊んでくださる視覚障害のある子どもたちの大人のご家族の方たちに楽しく読んでいただけたら…と願って職場で作っていた通信紙に連載したものです。大昔に書いたものでちょっぴり恥ずかしいのですが、みなさまに読んでいただけること、とてもうれしいです。

「自分で直させなさい」

もう四半世紀近くも前、むかしのお話です。

当時5歳のわたしは、近所にあった園児200人ほどの私立幼稚園（3年保育）の年中組でした。子供が多い地域だったこともあって、40人クラスに先生は一人。3歳で入園した時には、ちらちらと視界に入る服の色や陰の動きで友だちを追えるぐらいの視力のあったわたしでしたが、このころには、ほぼ全盲になっていたように思います。

この幼稚園には、年1回、近くの市民会館を借り切って、家族の人たちに劇やお遊戯などを見せる「お遊戯会」というのがあって、本番が近づくと、どのクラスでも練習に力が入る、それはみんなにとっての大イベントでした。

その日は朝から教室で予行練習！部屋のあちこちに胸の高さぐらいのマイク立てに取り付けられたマイクたちがによきりによきりと立っていて、「気を付けてね」とは言われていたように思います。でも、幼稚園では朝から大忙し！カバンを置きに行ったり着替えたり手を洗ったり……教室をあっちへこっちへ動き回らなければなりません。

「ガラガラガッシャーん」……それは、とてつもなく大きな音に聞こえました。「セーンセーイ、れいこちゃんがマイク倒しましたー〜」即座に友だちの言いつけ口調が直撃して来ます！きっと、その時のわたしは、驚きとも怒りとも情けなさともつかない感情に顔を真っ赤にして、その場にただ立ち尽くしていたのだと思います。

「自分で直させなさい！」……それは、予想もしていなかった厳しい、大きな先生の一言でした。そのあとわたしがどうしたのか、そしてどんな1日を過ごしたのか、残念ながら全く覚えていません。「自分で直した」のか、その場からそそくさと逃げ出したのか……。でも、この一瞬の経験は、幼かったわたしの記憶にしっかりと焼き付いて、今のわたしという存在の大切な大切な根っこの一部になりました。

「ガラガラガッシャーん」のような「事件」は、ドジなわたしの周辺では、今でも日常茶飯事に起こります。特に道ばたに無造作に留められた自転車たちは、ちょこっとひっかかっただけで、とつてもとつてもハデ〜にすっころがってくれたりします。でも、そこで驚いたり怒ったり情けないと感じたりする必要はない。「自分で直せ」ばいいのです。ときには……いや、結構しばしば、通りがかりの人が足を止めて、直すのを手伝って下さる……なんて、うれしいおまけが付いてきたりもして！？なにかが起こってしまった時、まずは自分で対処してみよう……対処出来るかもしれない、と感じられることは、生きていく上での何物にも替えがたい大きな自信につながるように、わたしには思えるのです。

この年の「お遊戯会」で、わたしたちのクラスは「みにくいアヒルの子」の劇をしました。舞台を飛び回る役が多い中、わたしに課せられた役柄はナレーターでした。みんなのセリフはほとんど一言ずつなのに、わたしには長い文章のセリフがたくさんあって、それがうれしくてたまらなかったこと、今でもしっかり覚えています。

教育相談に関するお問い合わせ・申し込みはこちら

筑波大学附属視覚特別支援学校 幼稚部（担当：早期教育支援部 高橋里子）

〒112-0015 東京都文京区目白台3-27-6

TEL 03-3943-5422（幼小直通） Mail ikujigakkyuu@nsfb.tsukuba.ac.jp

- ・ 教育相談は無料です。
- ・ メールの場合は必ずお名前・ふりがな（ご本人及び保護者）、生年月日（ご本人）、ご住所、ご連絡先を明記の上、お問合せ・お申し込みください。
- ・ 個別のご相談は随時お受けしております。ご希望の方はご連絡ください。
- ・ 相談者の居住地は問いません。オンラインでもご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。